

各地区業況アンケート結果（31年4月調査分）

（31年4月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

4月24日締切で、当会役員146名に対しこのアンケートを行ったところ76名の回答があり（回答率52.1%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 売上数量DI値マイナスに

問1】貴社の3月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	9	9	32	12	14	76	80
比率	12%	12%	42%	16%	18%	DI-17	DI+28
売上金額/前年同月比	14	14	27	13	8	76	80
比率	18%	18%	36%	17%	11%	DI+17	DI+39

2. 黒字は6割

問2】貴社の3月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	20	25	19	8	3	75	80
比率	27%	33%	25%	11%	4%	DI+68	DI+73

3. 自動車向け以外はDI値マイナス

問3】貴社の営業窓口から見て4月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		6	34	18	1	59	-24	-3
民間建設向		11	34	17	2	64	-16	-1
自動車向		4	31	3		38	-3	-2
その他需要家向		11	36	15	1	63	-10	+4
仲間取引		2	37	20	3	62	-39	-16
計		34	172	73	7	286	-19	-4
比率		12%	60%	26%	2%			

4. 低調のまま横這いで推移

問4】貴社における向う5月から7月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	24	33	15	2	75	79
比率	1%	32%	44%	20%	3%	DI +9	DI +9

5. 薄板三品過剰ぎみに

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	品種別	A	B	C	D	E		4月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-17	0	0	-7	7	-3	3	0	0	19	11	0	0	鉄筋用丸鋼		4	25	2		31	6
10	10	10	13	13	0	6	15	7	0	0	-3	0	構造用丸鋼		1	27	3		31	-6
-10	-3	-3	-6	0	-9	-3	0	-3	3	0	-3	3	平角鋼			34	3		37	-8
8	-6	-3	10	9	9	3	18	41	41	36	15	11	H形鋼		4	27	5	1	37	-8
11	33	38	59	67	76	81	100	125	89	120	85	57	コラム	1	6	20	1		28	25
0	3	-6	0	-9	-8	-3	-11	5	3	-6	-11	-8	小形山形鋼		2	35	3		40	-3
-13	-18	-12	-3	-14	-11	-8	-11	3	3	-6	-14	-8	中形山形鋼		2	31	8		41	-15
-3	0	-9	-3	-6	-11	-3	-11	5	0	-9	-11	-3	溝形鋼		2	31	7		40	-13
-16	-15	-14	-11	-3	0	-9	-16	-6	-14	-9	-16	-9	軽量形鋼C形		2	29	3		34	-3
-16	-16	-15	-10	-11	-9	0	-5	-5	-5	0	-9	0	軽量形鋼広巾			22	3		25	-12
32	4	14	13	8	4	7	12	8	12	0	-3	0	冷延薄板		1	21	7		29	-21
31	27	23	12	11	-3	-3	0	17	14	16	-3	-3	熱延薄板		1	24	8		33	-21
50	40	33	27	14	3	6	3	0	8	0	-7	-10	表面処理鋼板			22	8	1	31	-32
52	32	25	18	11	-3	-3	-10	20	34	16	3	0	酸洗鋼板			24	8		32	-25
24	21	19	16	7	5	7	7	20	20	18	7	0	中板		1	37	7		45	-13
8	-6	14	14	10	23	31	41	49	45	36	15	17	厚板		3	38	3		44	0
-6	0	13	0	0	11	25	13	33	19	6	19	5	極厚板			20			20	0
-7	3	-10	-3	3	3	-3	-7	0	6	-6	6	0	縞板		2	30	2		34	0
-12	-11	-5	-12	0	-7	2	3	16	3	0	-5	-10	中径角		2	32	5		39	-8
-9	-8	-8	-6	10	2	-5	0	3	8	13	2	2	ガス管黒		2	33	5		40	-8
-14	-6	-8	-12	3	-2	-5	-3	-3	-8	0	-5	-5	構造用鋼管		1	32	6		39	-13
5	4	4	5	5	2	5	5	14	14	10	2	1	計	1	36	594	97	2	730	-9

6. 各地区でボルト不足深刻化

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	一般形鋼は積載もなくなり、徐々に荷動きが好転してきた。引合いも増え始めたが、値上げムードになっていないのが実情である。相変わらず、中小物件のボルト入手困難が継続している。形鋼在庫品の荷動きに影響が出ないことを祈っている。
	B	春先の案件が動き出した。例年に比べ丸棒の荷動きは低調な滑り出しである。価格は昨年の運賃エキストラ、4～5月の規格エキストラの改正で市況とは別建てだが、価格は上昇している。
	C	今年度の物件がだいぶ見えてきた。昨年同様に建築鉄骨や牛舎関連は旺盛でファブは忙しい一年となるようだ。数量的には昨年並みになりそう。今年はしっかりと利益の取れる年となる事を祈る。
東北	A	一次加工は忙しいが、素材の動きは悪い。相変わらず、素材の粗利が低い。昨年より率が低下。
	B	ボルトの欠品にて工程のズレが発生し、滞留在庫が発生している。これから工事もボルト次第であり、現状、簡単に請けられない状況。
	C	新規物件が少ない。復興需要も終わりか。国土強靱化計画に期待する。
	D	4月の見通し数字が非常に悪い。5月以降に苦戦予想。新規物件の引合いは少ない。
新潟	A	メーカーロールのタイト感がなくなり、市中在庫が普通から過剰感になりつつある。市況は現行価格を維持することで一杯である。
	B	あるユーザーでは鋼材以外の他部品で入荷遅れがあり、生産調整が行われ鋼材の荷動きにも影響が出てきた。結果的に値上げの機運も萎んでいるが、供給停滞の解消を待つことと安易な安値に首を突っ込まない。
	C	2～3月にかけて荷動きに若干の停滞感がある。単価の転嫁はこれからも課題として残る懸念事項。5月の大型連休を控え、各需要家も稼働日数字は大幅に減少し、荷動きに影響がある。
	D	新規案件も少ないが、ファブの山積みはそれなりにある。納期変更やトラック不足で、予定通りの納品が難しくなっている。
	E	例年4月は色々な調整が入り、落ち込むのだが、今年は3月に比べて若干良いスタートである。
	F	新年度の影響かボルトの影響か不明だが、荷動きがやや停滞気味。端境期であるのは間違いないが、暫くこのような状態が続くそうである。
	G	3月のファブ需要は横ばいも、それ以外は全体的に低調。4月以降は自動車、住宅関連で上昇を期待、産業機械関連は現状レベルと予測。価格面は踊り場状態となっている。
神奈川	A	仕事関係の流れは大きな変動はないが、建築工事に関しは相変わらずボルト不足で計画がたたない状況。長期間になりそうで心配である。
	B	公共建設、民間建設は安定して受注を頂いている。
川口		昨年同月比より若干仕事はある。
東京	A	3月は例年に比べ年度末の盛り上がりには欠け、出荷量は落ち込んだが、3月末から4月にかけてやや回復してきている。
	B	大型建機、中小型建機需要が旺盛のため出荷量が増加している。

東京	C	4～6月は不需要期ともあり、1～3月より伸びそうもないので、引続き我慢の時に強いられている。よって値上げも厳しく採算確保に苦慮する。定尺価格を下げる先も散見しているのので尚更である。
	D	10連休を控え、需要家や物件向けの納期が後ろにズレ始めた。受注が低下したわけではないが、連休明けまで荷動きが停滞するかもしれない。市況に悪影響が出ないと良いが。
	E	2月中頃より薄板関連の引合いは減少。仕入先は軟化。値上転嫁どころではない。例年だと大型連休前に設備関連の駆け込み需要があるのだが、今回は少ないようだ。
	F	2月の薄板三品在庫は約441万トンに加え、滞船が多数あり輸入材の在庫も多い。暫く在庫過多状況は続く見込みであり、販売は、ハイテンションボルト入手難など物件遅れが響きなかなか在庫がはけない。各社在庫消化のため躍起になっている。メーカーからは引き取り要請厳しく流通業者の状況はかなり厳しくなっている。
	G	急に荷動きが悪くなった。
静岡	A	エンドユーザーは業種、業態にかかわらず、需要は落ち着いている。建築の動きが比較的あるが、ボルトの調達等で遅れ遅れになり、結果動きも緩やかになっている。ここ数ヶ月の状況は変わらない。
	B	今期以降の設備投資計画の見通しが進んでいる。建築の山積みは高いが、新規中小物件の出件は少ない。ボルト入手難による延期、中止が多発するのではないかと心配である。
	C	鉄骨関連は需給ともに左団扇に変わりなし。実績値も笑いが止まらない。人材不足、人手不足も外国人労働者（正規ビザ取得者）雇用などで切り抜けている。何十年も前から、この業界は着手していたからルートはある。賃金にかかわる係争もなさそうである。依然からリストラ的な事はないと思うが、景況変化はあるのではないか。カラーC形鋼、カラーSTKRの塗料規格、K5674、K5621、K5625どこがイニシアチブを取っているのか。またその影響は？メーカー側の見解はどうなっているのか。エキストラもめっちゃくちゃである。地域限定で事業している住宅用鋼管杭施工は、今月、来年ともに段取りが付き、一安心であるが、隣国品の引当ては住んでいるが何か不安要素がある。大手流通のボアアップ、旧店売り部門は営業所、倉庫に変更、次はどこなのか。建設、建築関連の不良債権、破綻手続きなどは増加していないだろうか。
石川	A	景況の不安定さを感じる。その原因としてははっきりしているのは副資材（物づくり、建築とも）の不足である。そして、労働力不足、有給休暇の増加、トラック手配に時間を要する、働き方改革移行への戸惑いなどが予想以上に影響しているように思える。慣れるまでまだ時間を要するのか。勿論、国際状況の不安定感が根底にある。本当の不景気感ではない。
	B	ミルシートの準備に費やす時間が半端ない。ミルシート有償化の議論が行われ、頓挫したが、そもそも有償化では不必要なミルシートの抑止力にはならない。それに伴う請求業務が増える分、余計に手間がかかる。この際、教えてほしいのは、ミルシートは品質トラブルが起こっているわけでもないのに最終的に誰がどんな理由で必要としているのか。それがはっきりしないと虚しさばかりが残る。
富山	A	材料の入手遅れが改善せず、遅れ幅が広がりつつある。受注、注文量に対して人手不足もあり、慌ただしい感じが無い状況が続いている。
	B	ボルトの仮需が出ているのか。6ヶ月以上の納期が必要である。

岐阜		建築関連はボルトの入荷遅れの解消が見受けられない状況にあり、Mグレード以下の物件受注の減少が続いている。H形鋼など一次加工の仕事量は微減状況。産業機械関連などは受注量の減少が見受けられる。
愛知	A	集購については、地元自動車メーカーの生産計画は高い。秋口まで同様の傾向である。弊社分は微減が続いている。働き方改革の影響で増える可能性もあるが、質（単価とロット）の面で問題があり、採算が取りにくい。鋼製家具は前年より少し増加した。プロパーの自動車は前年比減少が続いている。設計変更でアルミに変わったため総合的にみて自動車向けの妙味が年々薄れており、そのために加工品のウェイトを高めるように努力している。
	B	ボルト不足の影響で建築関係の荷動きが良くないようだ。確かに当社の動きも良くない状態である。ボルト不足もまだまだ解消する見通しはたっていない。非常に不安である。とはいえ、設備関連の動きは悪くない。どこまでカバーできるであろうか。
	C	大型連休前だが、設備の引合いは現状斑模様。建築案件はコラムの不安が解消されてきたので、見積りが増えてきた。当地区ではRC造の建築は少ないが、鉄骨の基礎の丸棒の引合いが増えてきた。
	D	先行き不透明感が荷動きにも出ているのか良くはない。ただ、自動車は消費税上げの駆け込みで生産予定数字は高く、動きは堅調である。他の業種は斑模様で、全般的には良くない。新元号に伴って大型連休になるが実景気には影響ないか。
三重		中小物件が少なく、出荷数量が減少している。どこも同じらしく、県外の同業他社からの売り込みが激しい。ご挨拶価格なのか、安値だけを置いていくが、少量のデリバリーに対応できるのか。鉄骨需要復活のポイントはボルトの納期解消次第という見方もあるが、まだまだ先は長そうである。1年後にボルトが供給過多になっていないことを祈るばかりである。仕入先からも強気の発言はトーンダウンしており、市況もここまでかと思うと非常に残念である。
大阪	A	ハイテンションボルト不足の影響からか鉄骨（中小物件）の基礎工事が目に見えて減ってきている。戸建て住宅はほぼ横ばい。消費税増税を見込んだ宅地造成工事は相変わらず好調。ただ、全般的に需要の盛り上がりには欠け、メーカー値上げの掛け声も市場ではどちらかという白けたムードになる。
	B	4月に入り、荷動きは落ち着いている。ハイテンションボルトの入手難で鉄骨向けの荷動きが悪い。メーカーの販売姿勢が強いので、価格は現状を維持している。
岡山		注文、見積りとも低調。建設分野以外も少し暇になっている。コンビナート定修も鉄よりステンレスがよく発注されている。
香川		ハイテンボルトの不足により地場中小案件がストップしている。中小ファブにとっては死活問題になりかねない状況。ボルト問題はすぐに解決しそうもなく厳しい状況が続く。
北九州	A	建築、土木中心に単発の引合いは出始めている。店売りは低調のまま。定期便取り留めのケースも出てきている。H形鋼メーカーからの入荷が非常に順調で、倉庫満杯を理由に入荷順延依頼も強引に入ってきているため置き場に困るほど在庫が増えている。H形鋼の一次加工の需要は堅調で連休明けの工程も埋まりつつある。ただ、加工賃がなかなか上がらない。
	B	荷動きは落ち着いており、市況は横ばい。依然ボルトの入手難による影響で中小物件はファブも受注できない。身動きとれず、輸送の付帯業務について流通各社は困惑している。
	C	連休前の煩わしさはあるが、依然、物量的に盛り上りはない。